



## 空港のカーフェュー(離着陸制限) に関する手引き

空港のカーフェューとは何ですか。それが存在する理由は何ですか。

空港のカーフェューの目的は、夜間の航空機離着陸による地域住民への騒音曝露を最小限にすることです。同省は、シドニー空港、アデレード空港、ゴールドコースト空港、エッセンドン・フィールドズ空港におけるカーフェュー法規の管理を担当しています。

カーフェューは、航空機の運航を午後 11.00～午前 6.00 の間に制限します。この制限は、離陸および着陸が可能な運航の種類および/または航空機の種類を制限することができます。場合によっては、カーフェュー時間帯には、使用できる滑走路を制限することもできます。

「例外的な状況」では、航空機運航業者はカーフェュー時間帯の離着陸の許可申請を、カーフェュー時間帯の離着陸を通じて行うことができます。カーフェュー時間帯の離着陸申請はすべて、関税担当官、航空および空港、電話+61 2 6274 6998(24 時間対応)または以下まで電子メールで行う必要があります。  
[chapter2@infrastructure.gov.au](mailto:chapter2@infrastructure.gov.au)

### カーフェュー時間帯の離着陸に関する包括的な原則

- 運行業者は、自らの管理下において合理的な努力を尽くすことにより、カーフェュー時間帯の離着陸の必要性を回避するよう務めなければなりません。
- 一般的に、カーフェュー時間帯の離着陸は午後 11.45 時以降、現地時間午前 6.00 時以前には許可されません。

### カーフェュー時間帯の離着陸を許可する「例外的状況」とは何ですか。

各空港には、カーフェュー時間帯の離着陸が許可される場合の「例外的状況」を定義するガイドラインがあります。カーフェュー時間帯の離着陸申請を評価するための一次基準および二次基準を以下に説明します。

#### 一次基準

カーフェュー時間帯の離着陸が許可されるには、すべての空港(エッセンドン・フィールド空港を除く)で、次の 3 つの主要な基準が満たさなければなりません。

- 出発空港直近の状況(たとえば、シドニー空港からの離陸準備中、またはシドニーに到着する他の空港からの離陸中)
- 合理的に予測できない性質の状況(たとえば、手荷物の積卸し、予期せぬ機械的故障、セキュリティ上の理由による再審査)
- 代替的な手配では合理的に対応できない状況。

### 1. 出発空港直近の状況

カーフェュー時間帯の離着陸の対象となる状況は、空港到着または空港出発の一区間(または予定されるフライト)が該当します。これには、搭乗中または飛行前検査で発見されたインシデントが含まれる可能性があります。注意：アデレード空港のみ、以前のセクターで経験された遅延が対象となる可能性があります。

### 2. 合理的に予測できない性質の状況

これらの状況には、機械的な故障、手荷物の積み降ろしを必要とする乗客の失敗、爆弾の脅威や警備の再審査などの警備上の出来事、予測できない非常に厳しい気象現象(以下でさらに詳細に説明)などが含まれます。

### 3. 代替の手配では合理的に対応できない状況

代替の手配には、代替空港へのフライトの進路変更、代替フライトへの乗客の配置、代替の航空機、航空会社または輸送手段(たとえば、ブリスベンとゴールドコーストの間のバスまたは列車)の使用、および可能であればフライトのキャンセルが含まれます。乗客の占有率が高いということは、代替の手配に関して、選択肢がより限定される場合があることを意味します。

## 二次基準

3つの一次基準が満たされれば、以下に説明する二次基準を考慮することができます。

### 1. カーフェュー時間帯の離着陸を要請する時間

11.15pm の離着陸は、11.45pm の離着陸よりも一般的に受け入れられます。午後 11.45 時以降のカーフェュー時間帯の離着陸が認められる可能性は低く、そのような要請は可能な限り回避する必要があります。

### 2. 航空機の到着経路

シドニー空港とアデレード空港では、水上運航のアプローチにより、騒音の影響を受けやすいエリアからできる限りノイズを避けることができます。シドニー空港では、ボタニー湾上のメイン滑走路(着陸用滑走路 34L、滑走路 16R)への着陸離陸が推奨されます。アデレード空港の場合、安全上の理由から気象条件によりこれが不可能な場合を除き、滑走路 05 に着陸し、滑走路 23 からセントビンセント湾上空に離陸することが必要です。

### 3. 天候

ほとんどの場合、天候はカーフェュー時間帯の前によく認識されており、それを予測し、緩和することができます。しかしながら、悪天候のタイミングと天候の過酷さは、「例外的状況」の検討対象となる可能性があります。たとえば、予想外の落雷による遅延や交通渋滞により午後 6.00 時に滑走路がクリアになることは「例外的な状況」とはみなされませんが、現地時間午後 10.00 時から始まる同じ状況は「例外的な状況」とみなすことができます。なぜなら、合理的な代替措置を講じる時間がほとんどないためです。

### 4. 宿泊施設

宿泊施設の不足は、「代替的な取り決めにより合理的に満たすことができない」という一次基準の要因ではありません。ただしこの問題は、乗客の宿泊先を手配できないことから発生する、乗客の苦痛の程度を評価することに関連しています。たとえば、同伴者のいない未成年者、車椅子の乗客、または疾病のある乗客が相当数いるフライトは、航空会社にとって、他のニーズを満たすだけでなく、適切な宿泊施設を見つけるのがより困難な場合があります。また、近隣の都市で大規模な公的イベントが発生すると、乗客用の宿泊施設を見つけることが難しくなることもあります。

航空会社は、適切な宿泊施設が手配されていないことによって、カーフェュー時間帯の離着陸の要請に応えることができるかどうかを判断する際に、宿泊ニーズをより正確に把握するため、現地に居住する旅客の数を評価することが求められます。

### 例外とみなされない状況

一般に、以下の状況は例外とはみなされません。

- 航空機の離陸又は着陸に先立って運航業者が認識していた悪天候による遅延であって、代替の手配が可能な状況
- 機械的な問題による航空会社のネットワークまたはスケジュールの混乱(予定されている特定の航空機に起因する即時の問題または予期しない問題とは異なる)
- 航空会社の経営上の考慮事項(航空機または乗組員の再配置の必要性など)
- 航空会社スタッフによる抗議行動
- 代替の手配を準備するのに十分な時間があるか、または通常の運営上の柔軟性によって問題に十分に対処できる状況。

### 許可される運航

一般に、旅客機や大型貨物機を運航する民間航空機の多くは、カーフェュー時間帯には運航を禁じられています。このルールの子な例外は以下のとおりです。

- シドニーとアデレードで現地時間 5.00am から 6.00am の間に発生する国際線による事前承認された離着陸
- クオータの取り決めで離着陸する限定数の事前承認された低騒音貨物専用機
- 国際騒音基準を満たす 34,000kg 以下のプロペラ機
- 緊急航空機(警察、航空救急、王立飛行博士サービス、搜索救助活動を行う航空機等)
- 緊急事態を宣言する航空機
- 国際騒音認定基準に適合する特定低騒音企業用ジェット機これらの動きはカーフェュー時間帯の

離着陸要請を必要としません。

### カーフェュー前のタクシークリアランス

航空機は、機長が要請し、航空交通管制から現地時間 11.00pm より前に離陸するためのタクシークリアランスを受け取った場合には、カーフェュー時間帯に離陸することができます。なお、プッシュバッククリアランスはタクシークリアランスではありません。航空機が午後 11.00 時以前にタクシークリアランスを与えられていない場合、カーフェュー時間帯の離着陸を要請する必要があります。

# 空港固有の条件

## シドニー空港

### カーフェュー時間帯に使用する滑走路

シドニー空港のカーフェュー時間帯に離着陸する航空機は、出発には滑走路 16R、到着には滑走路 34L を使用しなければなりません。

また、離陸は滑走路 16R(ボタニー湾上空を飛行)に限定し、午後 10.45~11.00pm の間とします。これは月曜日から金曜日まで適用されます。土曜日と日曜日の離陸は滑走路 16R に制限され、午後 10.00 から午後 11.00 の間となります。航空会社は、北向き離陸が必要な状況においては、タクシークリアランスを求め、ボタニー湾に向けて離陸することが推奨されます。

### シドニー空港でのカーフェュー時間帯中の逆推進の使用

航空機のパイロットが、カーフェュー時間帯中にアイドルリバーススラストより大きいリバーススラストを使用して着陸した場合、運航業者は、事件から 7 日以内に、Airservices Australia または同省のウェブサイトを通じて、事件の詳細を記載した報告をしなければなりません。着陸後 7 日以内に報告されない場合は、違法行為とみなされます。エアサービス・オーストラリア(Airservices Australia)は、カーフェュー時間帯のリバーススラスト使用の可能性を監視しています。

### シドニー空港のカーフェュー時間帯に進入後着陸しない

カーフェュー時間帯に着陸した航空機のパイロットが進入した後着陸しなかった場合、運航業者は、着陸の試みから 7 日以内に、進入した後着陸しなかったことについて、オーストラリア航空または当該事象の詳細を記載した報告を同省のウェブサイト経由で行わなければなりません。着陸の試みから 7 日以内に報告されない場合は、違法行為とみなされます。エアサービス・オーストラリアは、カーフェュー時間帯に進入した後着陸しなかった場合、同省に報告します。

### 緊急着陸(カーフェュー時間帯の飛行再開)

シドニー空港のカーフェュー時間帯に緊急着陸を行う航空機は、カーフェュー時間帯に飛行を再開することは認められていません。

### シドニー空港のカーフェュー時間帯の事前承認済みの着陸

シドニー空港では、カーフェュー時間帯に、事前承認された国際便の着陸が可能です。航空会社は、年間ベースで事前承認された国際便の着陸を申請します。シドニーの規則では、国際線旅客サービスの年間承認時間と曜日に、週に 24 回、ただし 1 日に 5 回を超えない範囲で午前 5.00~午前 6.00 の到着を許可しています。

これらの着陸は、3 月下旬から 10 月下旬までの北半球夏期スケジュール期間中に承認されます。現在、これらの事前承認済みの着陸は、カンタス(10)、ブリティッシュエアウェイズ(7)、シンガポール航空(7)に割り当てられています。

航空交通管制はこれらの離着陸を綿密に監視しています。同省がまた、これらの割り当てを監視しています。

## アデレード空港

### 以前のセクター

アデレード空港のみ、カーフェュー時間帯の離着陸を申請する際に、以前のセクターで経験された遅延が考慮対象となる可能性があります。

### 緊急着陸(カーフェュー時間帯の飛行再開)

アデレード空港のカーフェュー時間帯に緊急着陸を行う航空機は、カーフェュー時間帯に飛行を再開することが許可されます。

### 進路変更

アデレード空港が代替着陸空港として必要とされる場合(パースでの霧によりアデレードに進路変更された航空機は、緊急時とは異なる)、国際便の予定された運航の再開が許可されます。アデレードに進路変更される国内線定期便は、カーフェュー時間帯に飛行を再開することは**できません**。

### カーフェュー時間帯に使用する滑走路

滑走路 05 への着陸および滑走路 23 からの離陸は、アデレードの住宅地への航空機騒音の影響を最小限に抑えるために、セントビンセント湾の上空へ航空機を誘導するように設計されています。

滑走路 23 の着陸のための使用は、航空交通管制により滑走路 05 が着陸に利用できないと宣言された場合にのみ考慮する必要があります。滑走路 05 の離陸のための使用は、航空交通管制により滑走路 23 が利用できない、航空交通管制により宣言された場合にのみ考慮する必要があります。

リバーススラストは、カーフェュー時間帯に安全であればアイドル状態でのみ使用することができます。運用上許容できる場合には全長の滑走路からの離陸が必要です。

### カーフェュー時間帯の離着陸のクォータ

滑走路 05 以外の滑走路を使用する国際航空会社は、着陸後 7 日以内に代替滑走路を使用した理由を記載した報告書を提出しなければなりません。

クォータの取り決めに従って、滑走路 05 以外の滑走路を使用し、カーフェュー時間帯に運航する低騒音重量貨物航空機は、着陸後 7 日以内に代替滑走路を使用した理由を記載した報告書を提出しなければなりません。



## ゴールドコースト空港

### カーフェュー時間帯の離着陸のクォータ

ゴールドコースト空港では、学校休暇、イースター、クリスマス、特別イベントなどのピーク需要期に対応するため、カーフェュー時間帯の旅客ジェット機離着陸について年 24 回のクォータを提供しています。

これらのクォータフライトは、以下の離着陸に対して許可されます。

- (a) クイーンズランド州の法定時刻がニューサウスウェールズ州の法定時刻と同じ場合、国内線旅客ジェット機がゴールドコースト空港で午後 11 時 00 分から午後 11 時 45 分までの間に着陸または離陸することを許可します
- (b) ニューサウスウェールズ州でサマータイムが実施されている場合、国内線旅客ジェット機がゴールドコースト空港で午後 11 時 00 分から午後 11 時 30 分に着陸できるようにします。

航空会社がカーフェュー時間帯の離着陸にクォータを使用している場合、クォータが使用された理由を含め、7 日以内に同省に伝える必要があります。

### 緊急着陸(カーフェュー時間帯の飛行再開)

ゴールドコースト空港のカーフェュー時間帯に緊急着陸を行う航空機は、カーフェュー時間帯に飛行を再開することができます。

### 進路変更

ゴールドコースト空港が代替着陸空港として必要とされる場合(ブリスベンでの霧によりゴールドコーストに進路変更された航空機は、緊急時とは異なる)、国際便の予定された運航の再開が許可されません。

ゴールドコーストに進路変更される国内定期便は、カーフェュー時間帯に飛行を再開することはできません。

### 優先滑走路

着陸に優先される滑走路は滑走路 14 であり、滑走路 32 は離陸に優先されます。

### カーフェュー前のタキシング

ゴールドコースト空港の航空管制塔は有人ではなく、航空管制業務はブリスベンから遠隔地で提供されています。その際、午後 11.00 時以前にタキシングを開始した航空機は、カーフェュー前にタクシークリアランスを行ったと見なされ、カーフェュー時間帯の離陸を必要とせずに午後 11.00 時以降に離陸することができます。

### ブリスベンへの近さ

カーフェューのないブリスベン空港から短距離に位置しているゴールドコーストのような空港は、カーフェュー時間帯の離陸を要請する前に、ブリスベン空港へ進路変更する、またはブリスベン空港から進路変更するという選択肢をできるだけ考慮する必要があります。